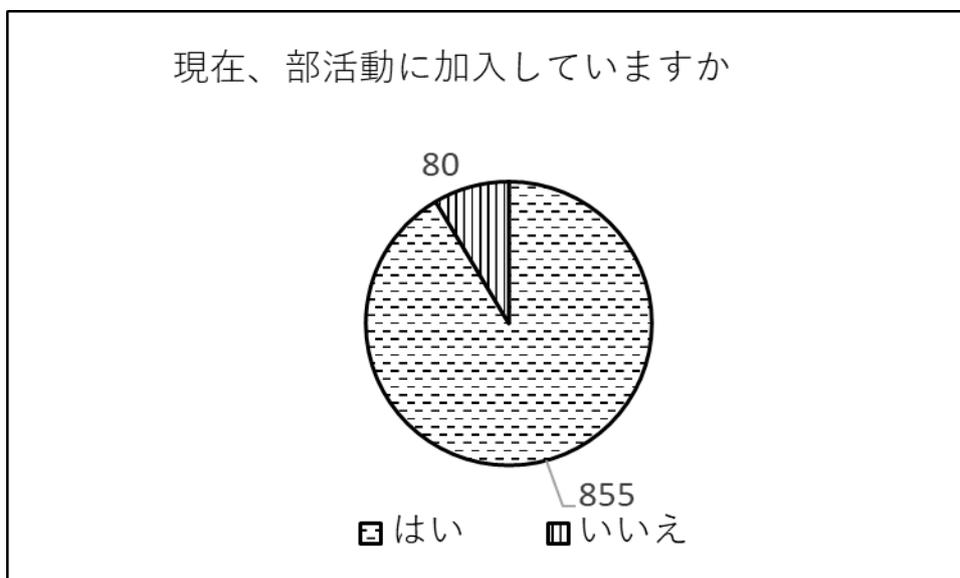


行田市～これからの部活動に関する意識調査～調査結果

- 1 実施期間 令和6年9月17日（火）～令和6年9月25日（水）
- 2 調査対象 中学校1年～2年生徒 (1,190名)
中学校1年～2年生徒の保護者 (1,066家庭)
中学校校長 (8名)
中学校教頭及び教職員 (153名)
- 3 調査結果 回答数（回答率）
中学校1年～2年生徒 938名 (79%)
中学校1年～2年生の保護者 826家庭 (77%)
中学校校長 8名 (100%)
中学校教頭及び教職員 121名 (79%)

①【中学校1～2年生徒】

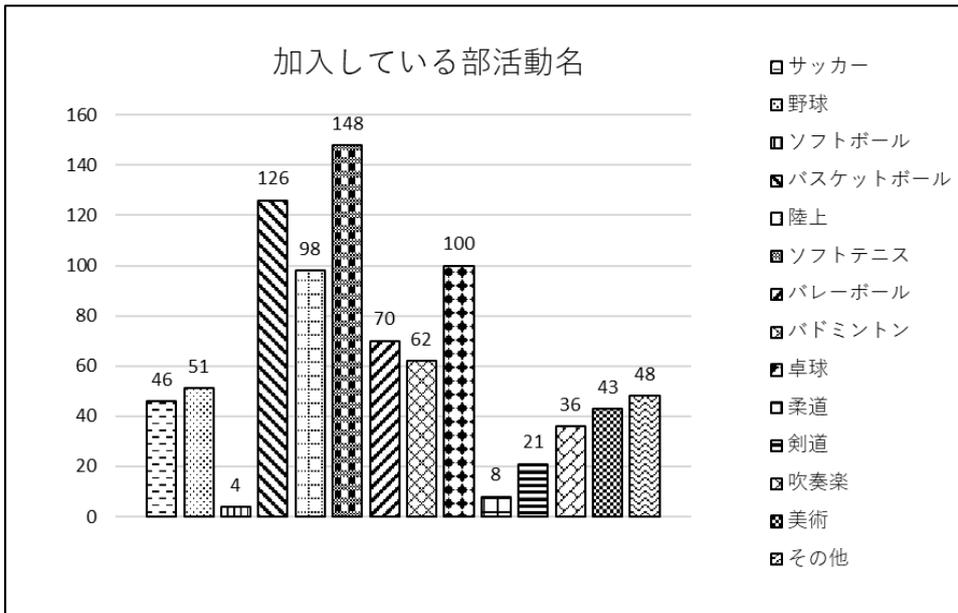
(1) 部活動加入の有無



部活動に入っていない主な理由

- ・クラブチームに入っている。
- ・やりたい部活動が無い。
- ・勉強や習い事を頑張りたい。

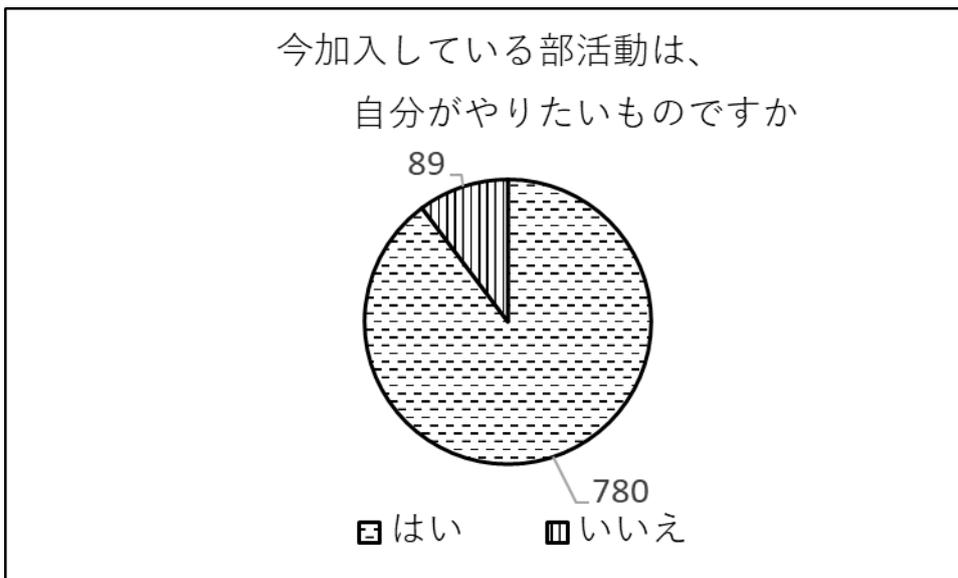
(2) 加入している部活動名



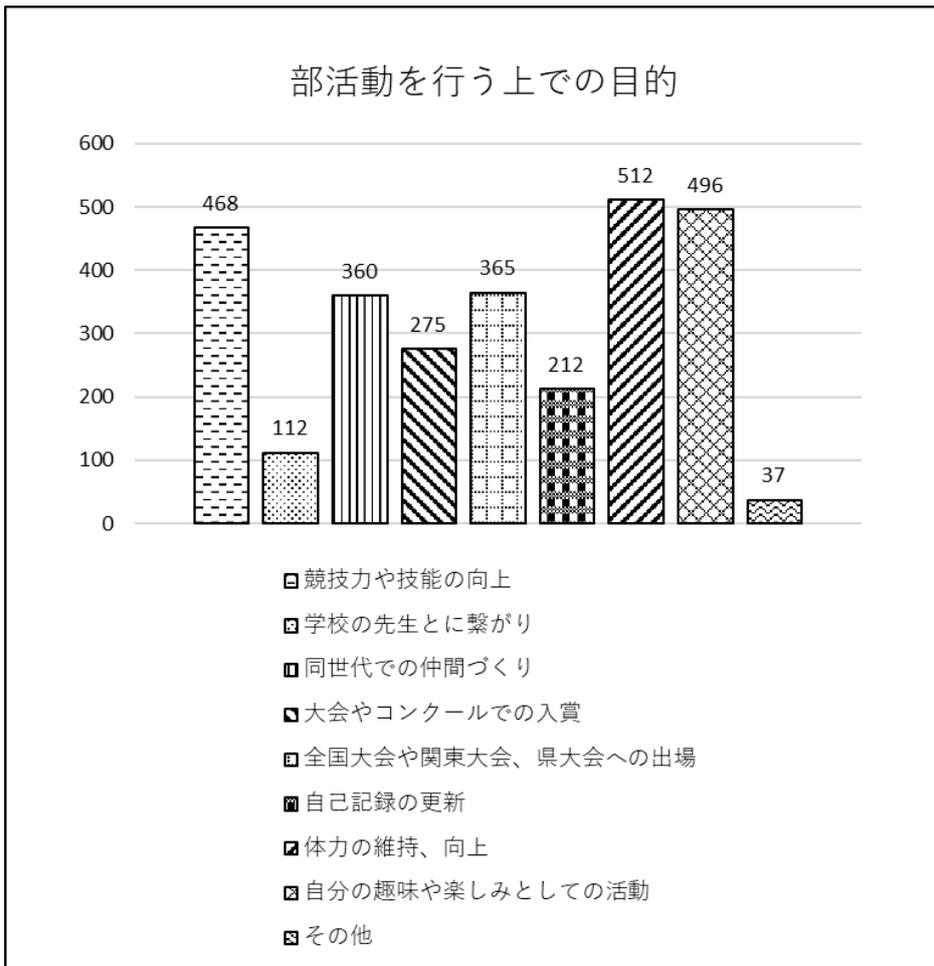
その他

- ・情報技術 (14) ・硬式テニス (13) ・科学 (10)
- ・生活科学 (4) ・合唱 (2) ・文科系 ・体操

(3) 今加入している部活動は、自分がやりたいものか



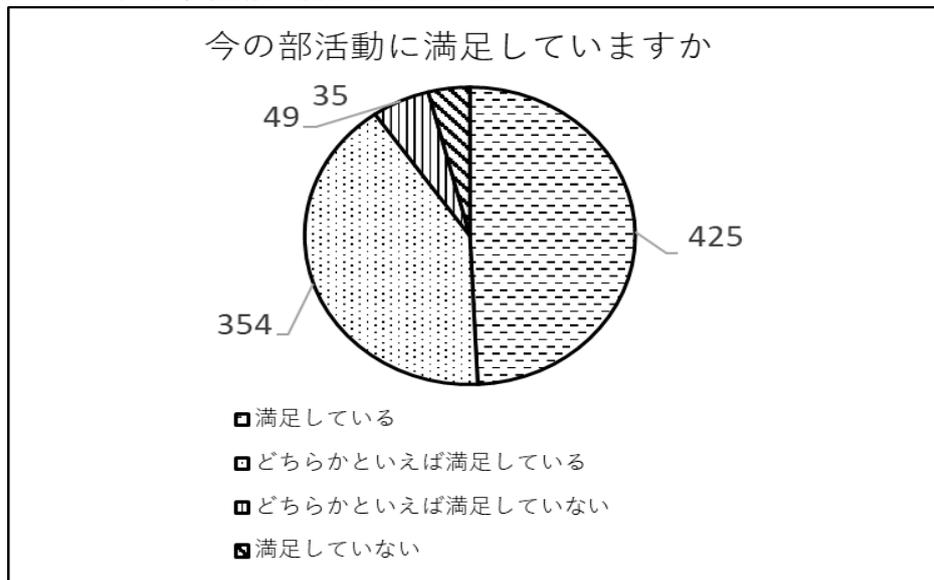
(4) 部活動を行う上での目的



その他

- ・何かやらないといけないと思ったから
- ・自分自身の成長
- ・他の学校の生徒との交流
- ・成績を上げるため
- ・先輩方との交流
- ・思い出作り
- ・コミュニケーション能力の向上

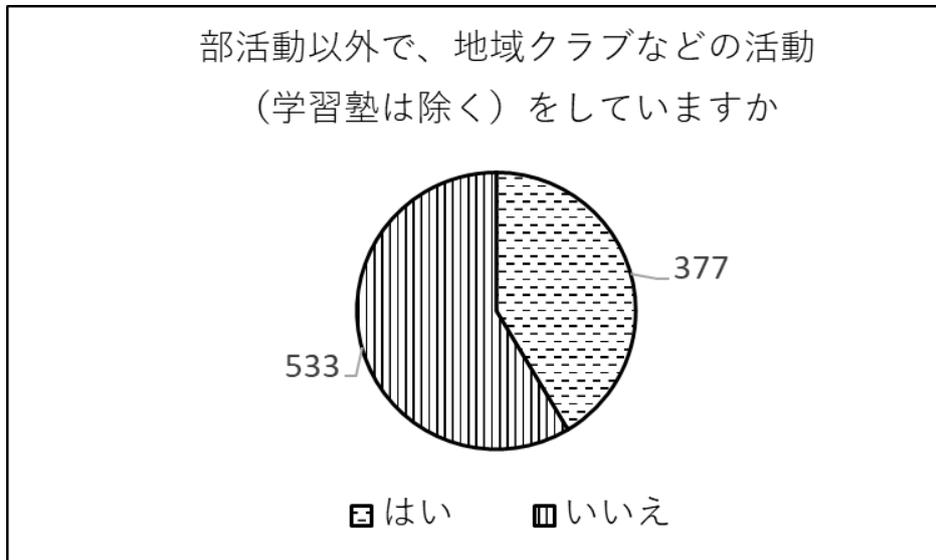
(5) 今の部活動に満足しているか



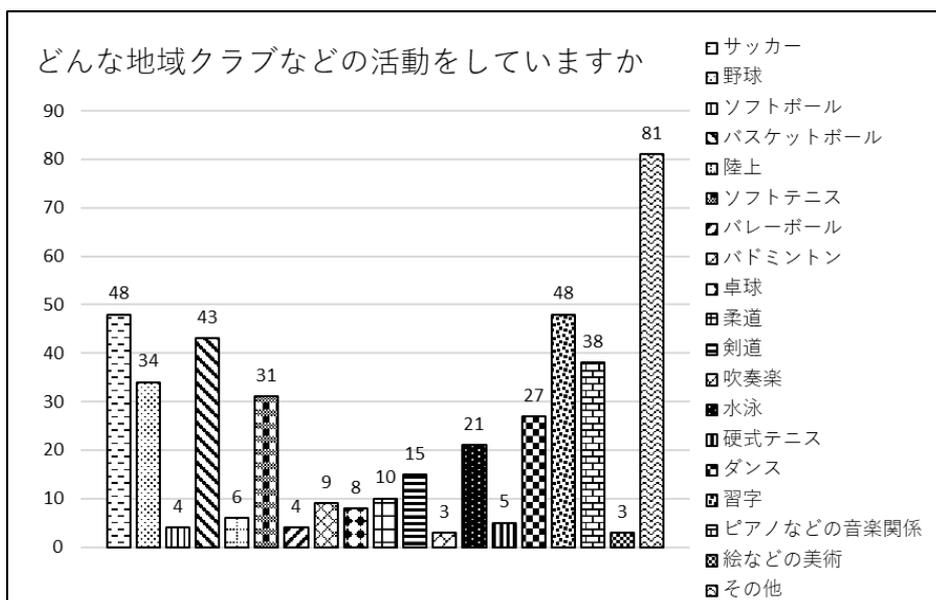
満足していない（どちらかといえば満足していない）主な理由

- ・休みを十分にしてくれない。・自由時間が少なくなる。・練習がきつい、厳しい。
- ・やりたい部活動がない。・部全体のやる気がない。・練習する時間が短い。

(6) 部活動以外の地域クラブなどの活動への参加の有無



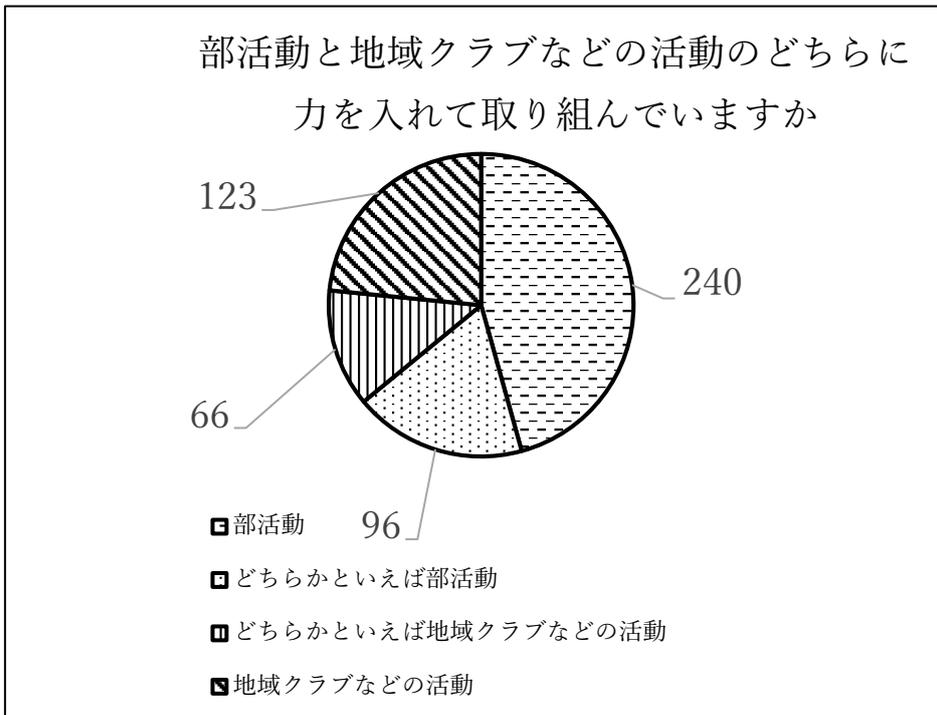
(7) 加入している地域クラブなどの活動



その他

- ・器械体操 (13) ・空手道 (10) ・キックボクシング (3)
- ・フラダンス (3) ・ラグビー (3) ・習字 (2) ・硬筆 ・和太鼓
- ・トランポリン ・アイスホッケー ・合気道 ・マーシャルアーツ
- ・ヘルスバレー ・チアダンス ・英語 ・クライミング

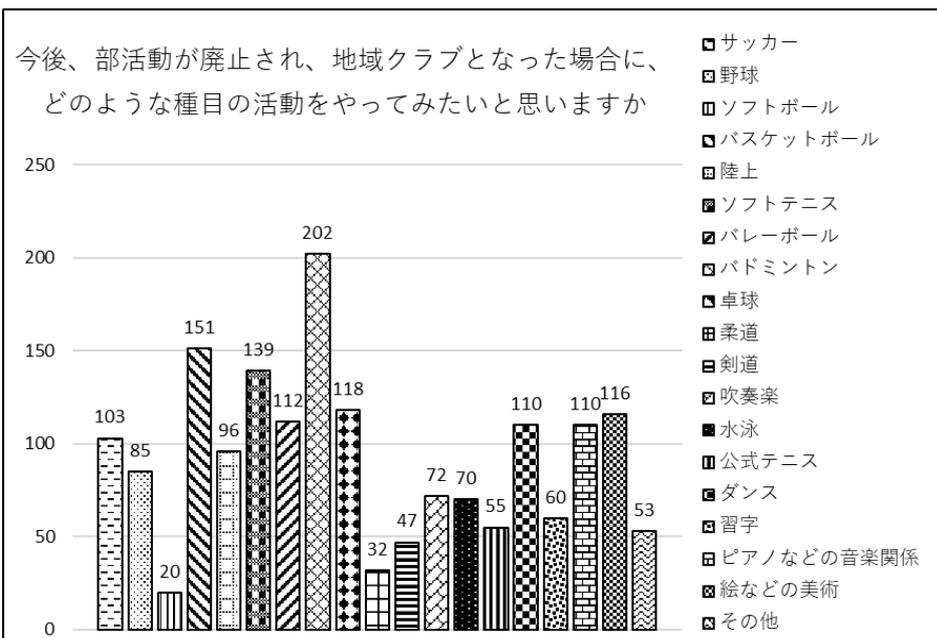
(8) 部活動と地域クラブなどの活動のどちらに力を入れているか



主な理由

- (部活・どちらかと言えば部活)**
- ・部活動のほうが楽しい、楽しみを求めているという意見が多数。また、他学年や他クラスとの交流、一つの目標を目指すなどの意見。
- (クラブ・どちらかといえばクラブ)**
- ・部活は選択肢が少ない、クラブはたくさんの中から選べる、自分の好きなことややりたいことができる。練習量が多い、本気で練習できる。細かいところまで教えてくれる。

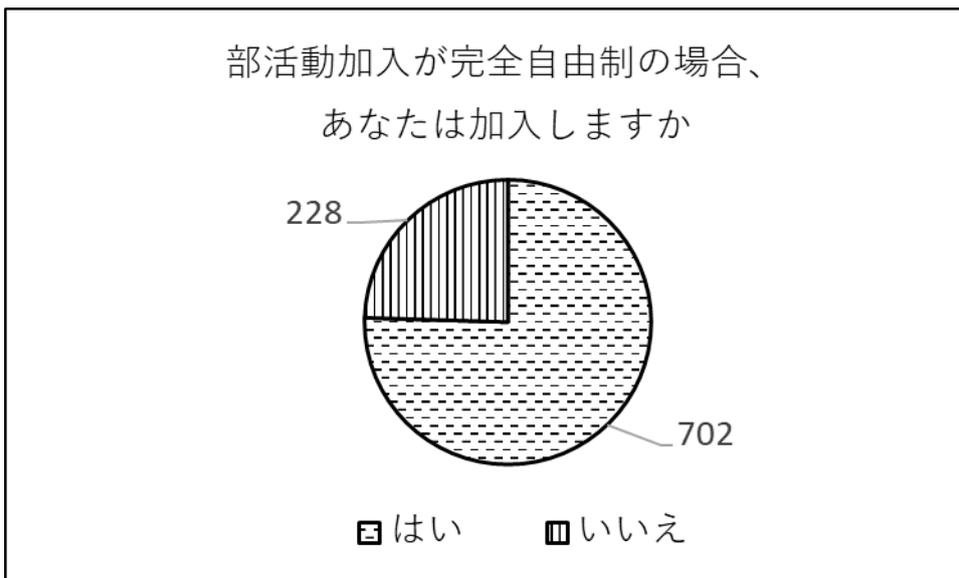
(9) やってみたい地域クラブ名



その他

- ・器械体操（7） ・弓道（6） ・空手道（4） ・パソコン（3）
- ・音楽関係（3・楽器・エレキベース・軽音） ・トランポリン
- ・eスポーツ ・クライミング ・ボランティア ・プログラミング
- ・ゴルフ ・情報技術 ・木材建築 ・アイスホッケー ・茶道
- ・キックボクシング ・ボルトリング ・マーシャルアーツ ・バレエ
- ・ラグビー ・バトントワリング ・ラグビー ・ラップ

（10）部活動加入が完全自由制の場合の加入有無



主な理由

（はい）

- ・楽しみ、人と関われる、内申点（成績等）、友達が増える、自分を成長させてくれる、モチベーションアップ、仲間と切磋琢磨、学校でできる（遠くに行かなくても済む）

（いいえ）

- ・勉強する時間や休みが増える、習い事に集中、自分の好きなことに熱中

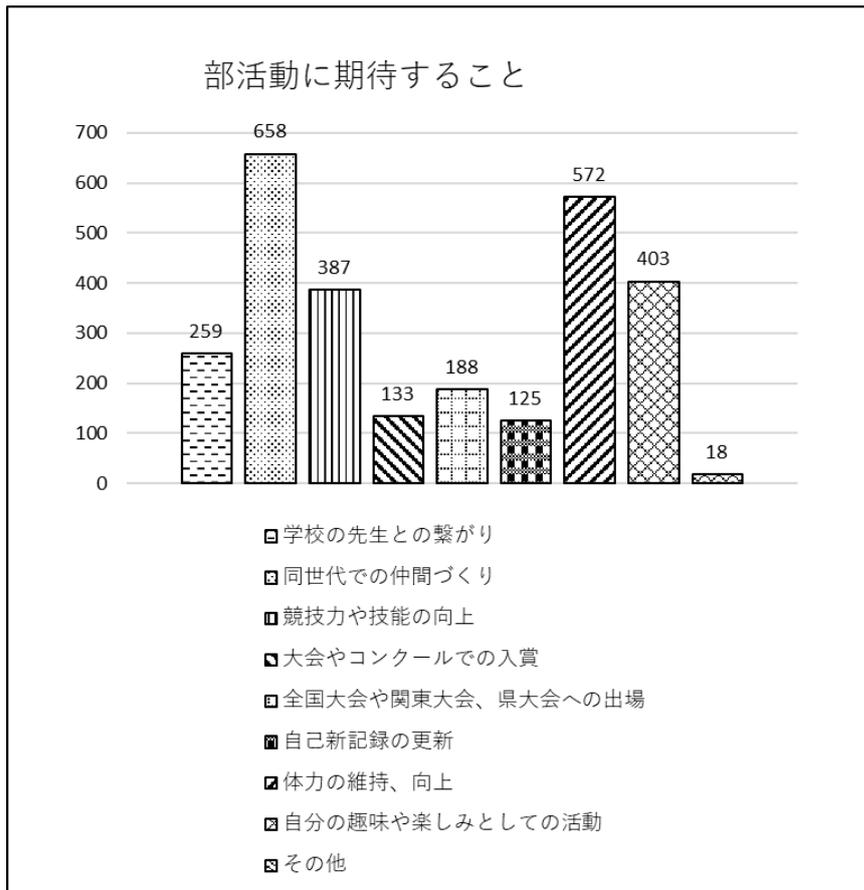
（11）部活動についての希望や考え（自由記述）

- ・少子化問題は仕方がないので少しでもいいから保っていてほしい。
- ・健康でいたり、先生や地域の方々とのつながりなどの面で考えてみたりするとやっぱり部活動はあった方がよいと思う。
- ・部活動廃止は皆が嫌だと思うけど受け入れなきゃいけないと思う。
- ・本当に自分が入りたいと思える部活にみんな入れるようにしたい。
- ・部活動の数が減っても文化部は残っていてほしい。（吹奏楽部とか美術部とか）
- ・私は部活動を続けていきたい。人数が減ってチームが成り立たないとなっても地域のクラブに入り、やっていきたいと思う。
- ・地域の方々や生徒の親たちで部活動みたいな、クラブ？を作ってみんなで楽しく運動をしたいと私は思います。
- ・小学6年生なども部活動を体験できるようにしてもらいたい。

- ・クイズ研究会や習字、茶道などの、経験がなくてもある程度大丈夫そうな部活を増やすべきだと思います。
- ・それぞれの部活に伝統や思いがあると思うので部活動廃止は悲しいですね。
- ・クラブチームと部活動を合体して、より多い人数で部活動として続ける。
- ・今の時代に合っていてみんながやりたそうな部活が欲しい。
- ・部活動の種類を増やし、みんなが満足をするようにすればよいと思います。
- ・部活動を無くし地域クラブなどを増やすのがいいと思います。
- ・男女で分けるのではなく一緒に部活動をやる。
- ・できれば部活動の数を減らさずに色んな選択肢がある中で好きな部活を選びたい。
- ・満足のいくような環境をつくり、主体的に取り組めるようにしたい。
- ・地域部活動は反対です。部活動に入って新しく仲良くなった友達もいるし、良い先輩をもち、まだ、その子たちに教えたいです。まだ、みんなと部活動をしたいです。
- ・自分は楽しくやれるならそれでいいです。ほかの学校の同じ部活動と合併したほうがいいと思う。
- ・好きな部活を自由に簡単に作れたらうれしい。
- ・人数が足りないところは合同チームとして活動すればいいのではと思います。
- ・部活動が減ったとしてもできる日だけやるっていう形で良いと思います。
- ・入りたい部活に入れないのはつらいので、選択できる程度の部活は必要だと思う。
- ・部活動がなくなるのはしょうがないが、地域クラブ移行となる場合は自治体などが全面的に協力し地域の子供が運動不足になることを防ぐ取り組みをしていただきたい。

②【中学校 1～2年生の保護者】

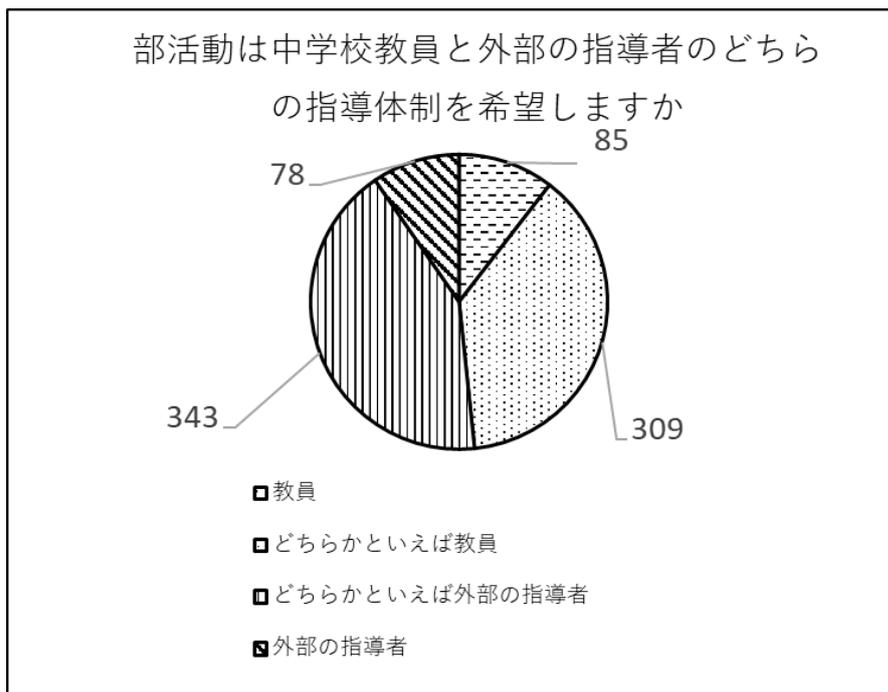
(1) 部活動に期待すること



その他

- ・ 向上心、探求心、忍耐力の向上
- ・ 中学生時代に打ち込めるモノ作り
- ・ 先輩、後輩との交流
- ・ 自己実現、達成感
- ・ 協調性や自立

(2) 部活動の指導者の希望



主な理由

(教員・どちらかといえば教員)

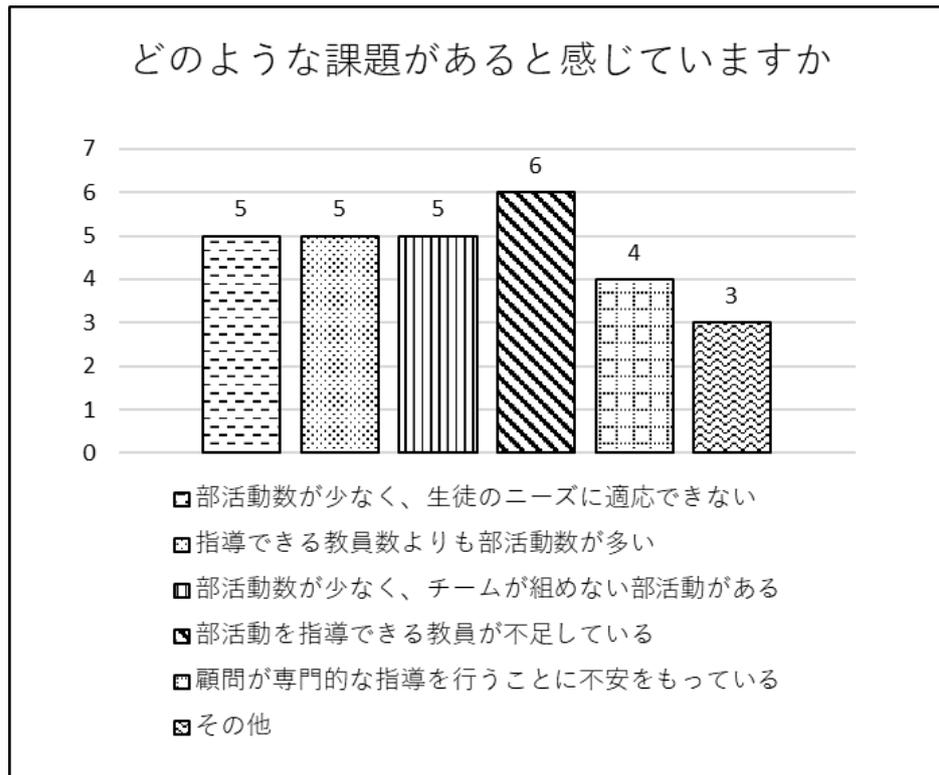
- ・担任以外（授業以外で）の教員との繋がり ・教員のほうが安心
 - ・相談しやすい ・子供のことを分かってくれている ・教育的意義
- (外部指導者・どちらかといえば外部指導者)
- ・教員の負担軽減、多忙への理解（多数） ・専門的な指導

(3) 今後の部活動の在り方についての考え（自由記述）

- ・部活動を0にすると言うのは、子供たちの楽しみや成長の過程を奪うものであり、継続してほしいと思うが、教員が減少する中、負担を減らすと言う事は大切なことだと思います。部員も減少する中、地域移行化は、今の時代にとって仕方ないことだと思います。
- ・子供達の意見も取り入れられる部活になると良いと思います。部活が必要がないという意見もあるかもしれないがコミュニケーション能力、仲間を思いやる力などを向上させてくれるし何よりも思い出になると思うので私は必要だと思います。
- ・中学校の部活はいろいろ経験できるので今まで通りの活動を希望しています。外部の指導者の力を借りて、教員の負担を減らしつつ、部活動に積極的な教員にはこれからも指導に参加していただきたいと思っています。
- ・従来の部活の形にこだわらず、運動が苦手な子も楽しめるようなサークル的な運動部もあるといいと思う。移動の問題などあるが、市全体で考えて、1から再編して欲しい。
- ・仲間と協力して、仲良く楽しく活動出来ればと思います。
- ・学校によって、部活動の種類や活動内容に差がある為、そこは生徒が平等に選択できるようにして欲しい。
- ・集団生活での協調性や仲間への思いやりなど、この年代が一番重要な時期と思うので、授業とは違った、学校生活をより有意義に過ごす為の時間であって欲しいと思います。
- ・現状は学校の生徒の人数が少ない為、部活の種類が極端に少なく、選択肢に学校格差を感じます。市内の中学生全員に同じ選択肢を与えて欲しいです（開催部活を中学校ごとにまとめて、放課後移動して部活動をする、など）
- ・無理に部活をやらなくてもいいのではないかと思います。平日も休日も習い事があり、更に部活もあるとなると休むこともできず、気分転換もままならないので子どもが疲れてしまい、学力や体力面等にも影響が出てしまいそうで、かなり心配です。
- ・小学校からを含めてクラブの外部委託を推進、複数のクラブに所属できるほうがいいかもしれません。
- ・中学の部活で十分な指導を求めるのは、負担が多いかもしれませんが、習い事では各家庭の経済状況によっては、やりたくてもできない子供もいるかもしれません。そのような事も考慮していただくと良いと思います。
- ・生徒も教員も強制されるものでなくて良いと思う。ただやりたいと思う生徒もいると思うので、先生の負担にならないような体制で行われたらいいのでは。

③【中学校校長】

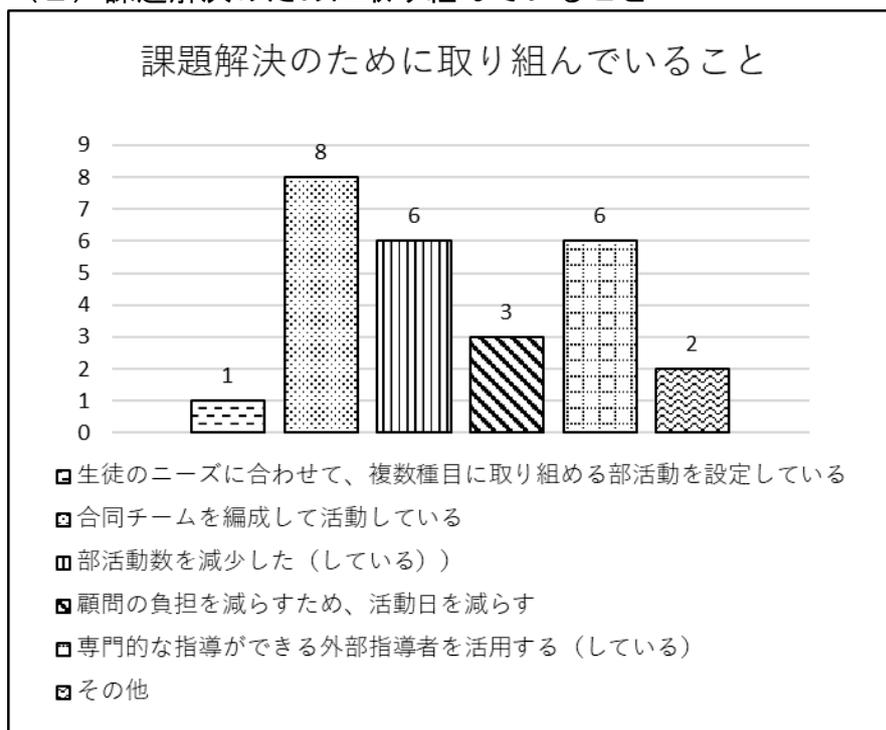
(1) 部活動の課題



その他

- ・複数体制が組めず一人顧問の部活がある
- ・(教員が) 希望する部活に充てられない
- ・指導時間が勤務扱いとされ、超過勤務との兼ね合いでストレス
- ・教員数に対し適切な部活動数の設定ができていない

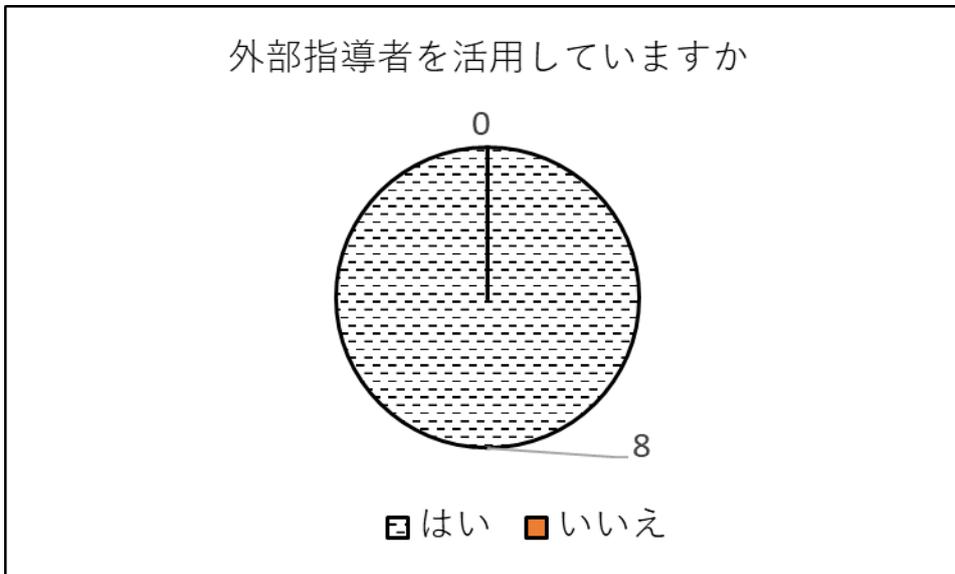
(2) 課題解決のために取り組んでいること



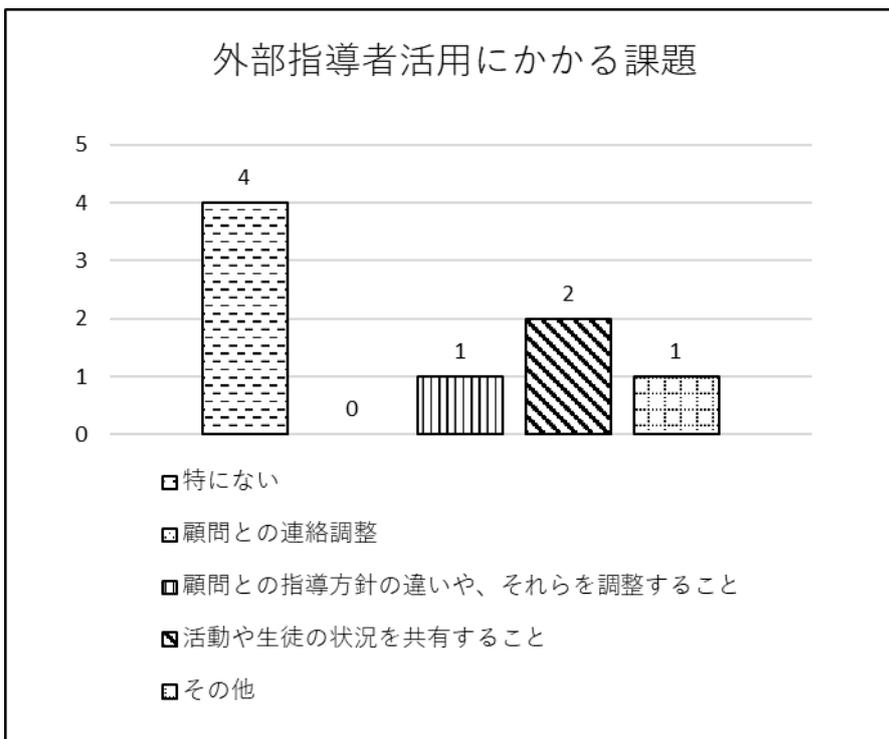
その他

- ・令和5年度から部活動検討委員会を発足させ、適正な部活動数を模索
- ・女子部に男子の入部を認めた

(3) 外部指導者の活用



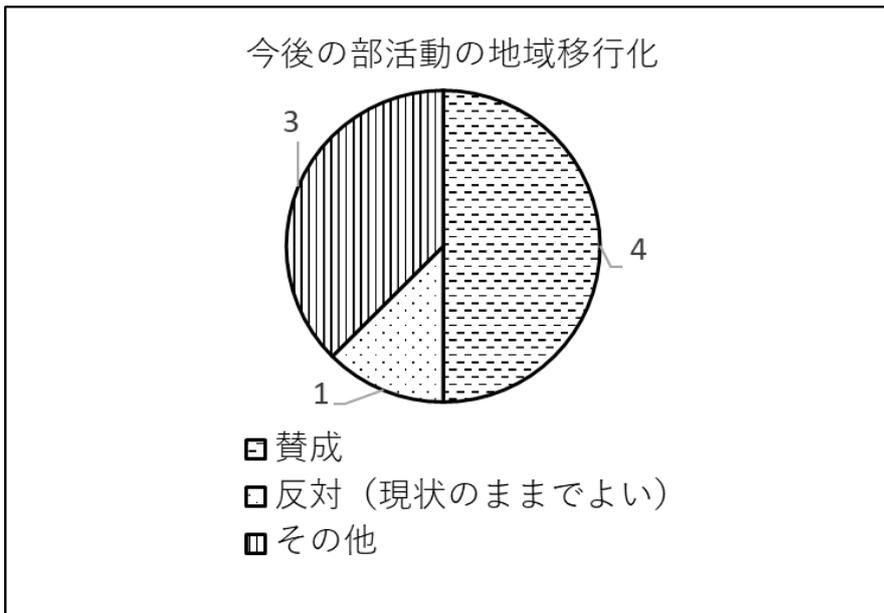
(4) 外部指導者活用にかかる課題



その他

- ・指導者がいるにも関わらず、登録できる人数が限られているため、登録できない人がいる。

(5) 今後の部活動の地域移行化



主な理由

(賛成)

- ・今まで教員による部活動指導は、ボランティアに近い形で行われてきたが、教員の働き方改革を鑑みると限界
- ・学校教育活動外で専門的な指導を受けたい生徒が、自らの意思で地域スポーツクラブに加入して能力を高めることが望ましい
- ・教員の負担を減らし、生徒と向き合う時間を確保するためにも、地域移行は賛成である。

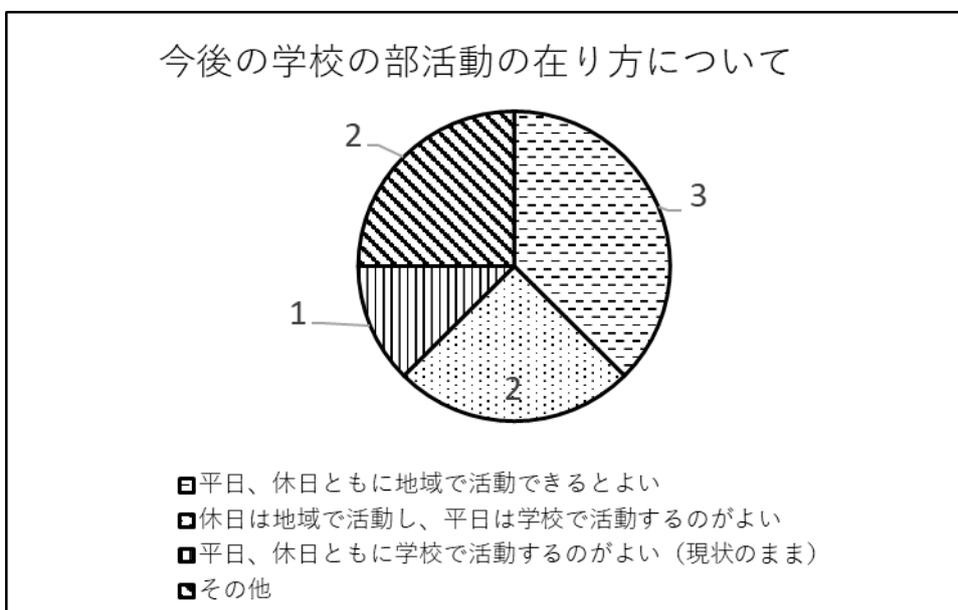
(反対)

- ・地域に子供のニーズに合ったスポーツクラブが無い。お金がかかる。学校が統合して、解決される問題もある。

(その他)

- ・基本的には国の方向性に沿って地域移行していくものだと思う。しかし、受け入れ側の地域の状況から、まだまだ時間がかかると思われる。
- ・完全移行でなければ意味がない。

(6) 今後の学校の部活動の在り方



その他

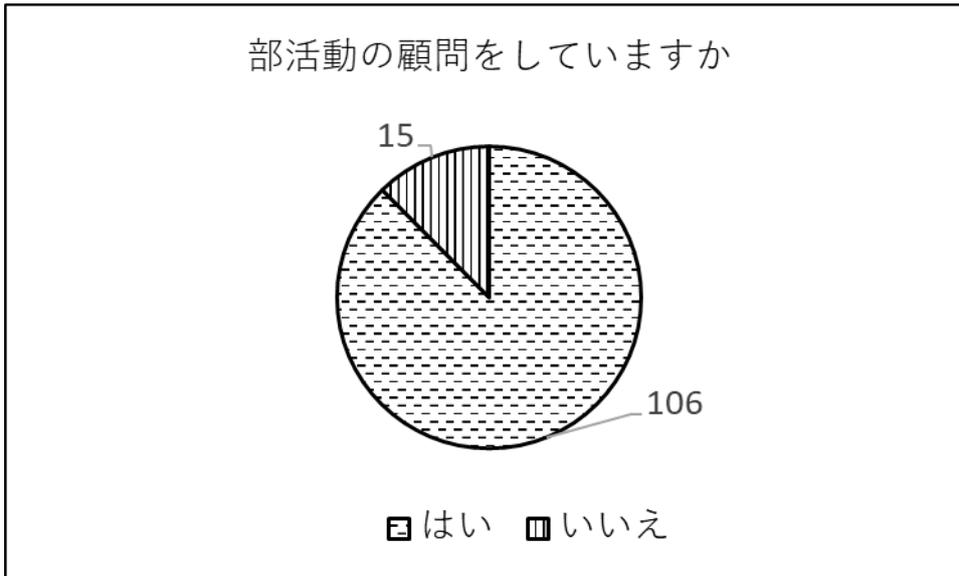
- ・どちらかに決めずに学校でできる部活は学校で毎日活動すればいいし、毎日できないのであればできる日にやるしかないのでは
- ・「平日、休日ともに地域で」というのは、理想というか、かなりハードルが高いと思う。まずは「平日は学校、休日は地域」でもよいと思う。
- ・部活動にまったく教員が関わらないのは、あまり好ましいこととは思えない。平日に（毎日）来てくれるコーチがいるとも思えないので。

(7) 今後の学校部活動の在り方や方向性について（自由記述）

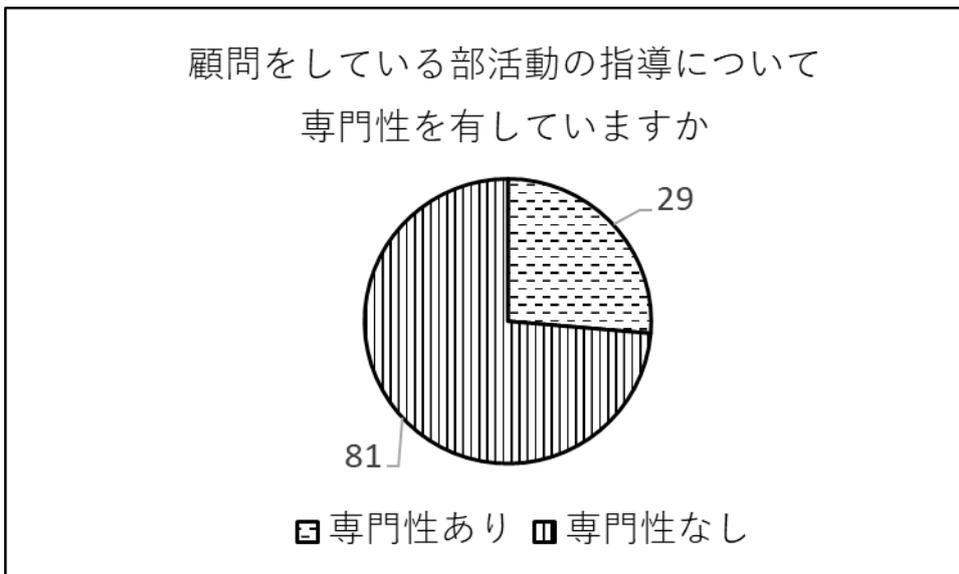
- ・行田市くらいの規模だと単独で地域スポーツを考えることは難しいと思います。近隣の市町と連携しながら、スポーツの選択肢を広げていく必要があります。
- ・休日の地域移行を進めていきたいところだが、練習試合や大会は土日に行われるため、指導者が平日と土日で代わってしまうのも難しいと感じる。それならば、平日、休日とも地域に移行した方がスムーズに運営できると思う。
- ・全てクラブチーム化して市で1チームまたは2チーム程度にした方がよいのではないか。その方が、1チームに複数の指導者がいる状態になり、運営もしやすい。
- ・現職の教職員の中に部活動指導をやりがいに感じている者も一定数いる。勤務時間終了後の部活動指導は、速やかに地域クラブの指導者に切り替え、指導料相当分の報償費を支払う制度の整備が急務である。
- ・少子化や生徒の活動の多様化を考えると、学校での部活動は大きな転換期にきている。
- ・個人の興味に合わせて専門的な指導を受けたほうが、生徒の可能性も伸ばせる。
- ・まだ他の自治体が様子を見て動かないているが、本市の中学校の状況を考えたら、少しでもいいから前に進むべきだと考えます。
- ・特定の種目だけ市として一つの部活動「行田市チーム」にするとか、段階的試験的な取り組みから始めてもいいと思います。
- ・義務教育学校の枠組みで地域移行できそうな部活動を先行してやってみてはどうでしょう。

④【中学校教頭及び教職員】

(1) 部活動の顧問をしているか



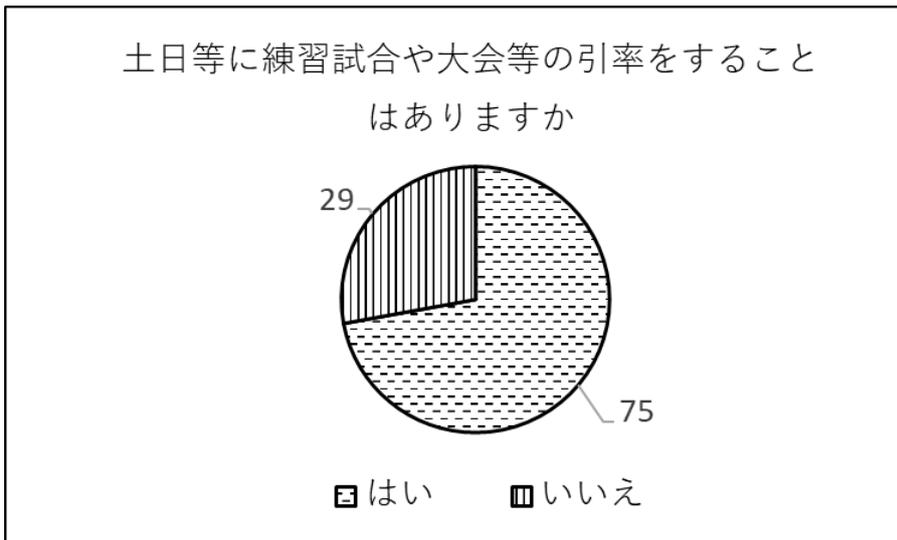
(2) 顧問の専門性の有無



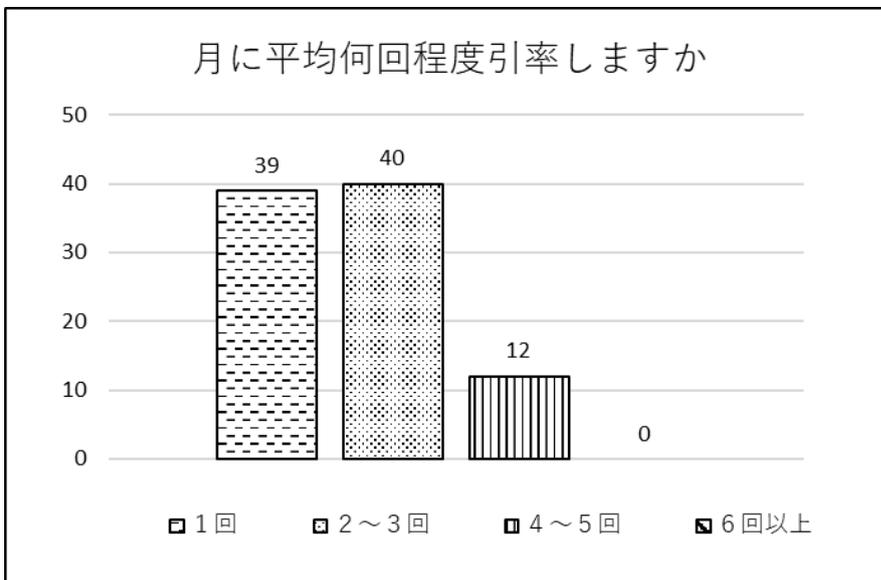
その他

・知識は有しているが、指導に自信がもてない。

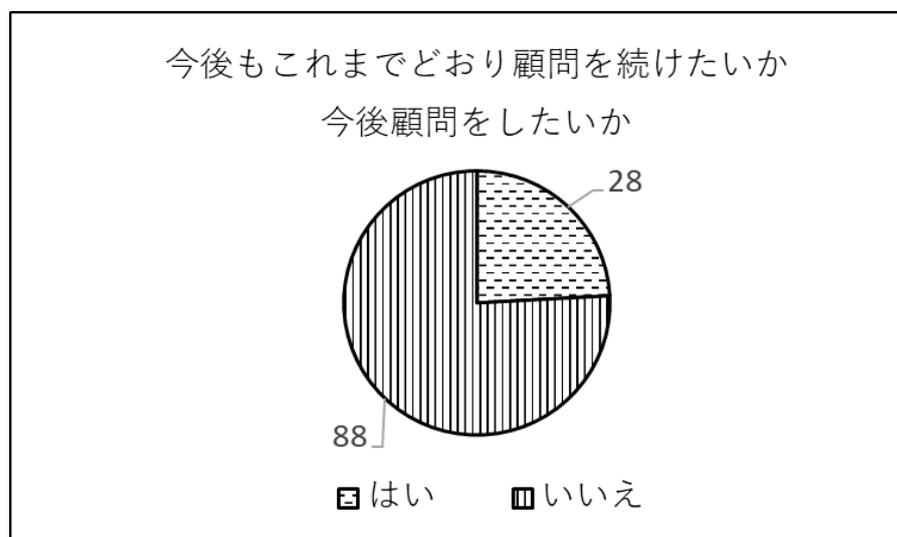
(3) 土日等の練習試合や大会等引率の有無



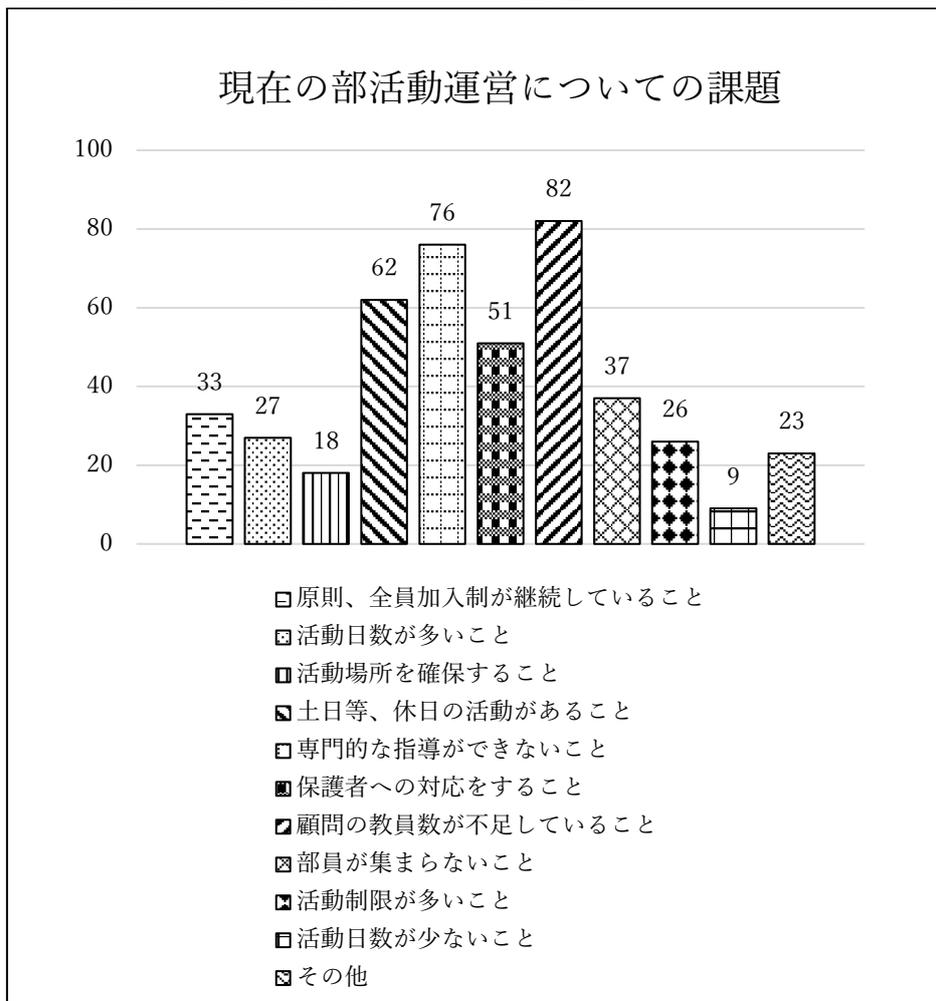
(4) 月の引率回数の平均



(5) 今後も顧問を続けたいか (今後は顧問をしたいか)



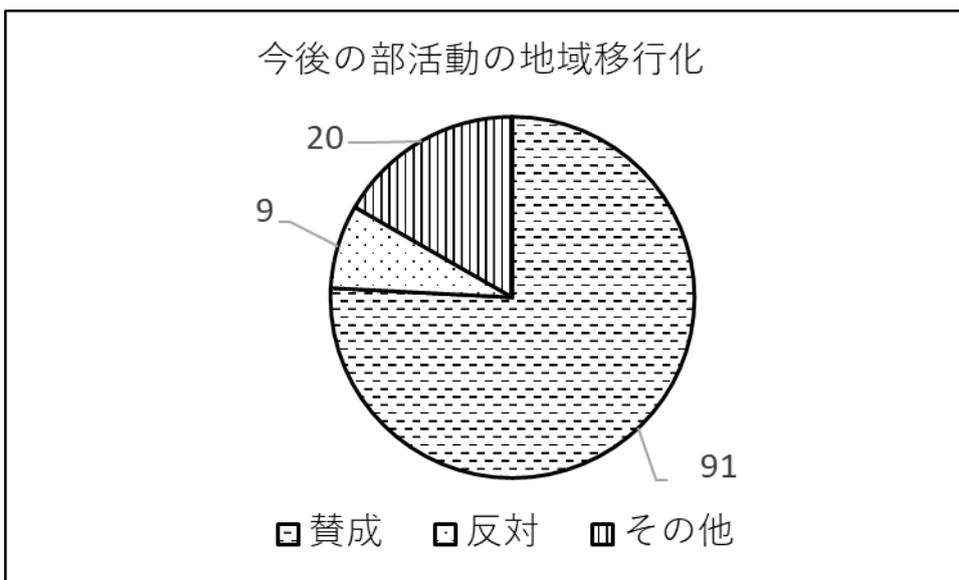
(6) 現在の部活動運営についての課題



その他

- ・基本的に勤務時間外に行われている自主的な活動を実質強制されていることになる。
- ・勤務時間外に責任が発生すること
- ・生徒の実態に合わせた活動方針を組むことができない
- ・働き方改革（時間外在校等時間削減）
- ・部員不足による合同チームの運営
- ・地域移行化の課題（人材、施設管理、教育的配慮、生徒指導、監督間の連携）

(7) 今後の部活動の地域移行化に賛成か反対か



理由

(賛成)

- ・ 予算を確保し、即刻やるべき。やりたい人はやる。
- ・ より専門的な指導ができる。
- ・ 教職員の業務削減
- ・ 教師の奉仕が限界を超えている。
- ・ 専門外の競技をもっている教員はストレスを抱えている
- ・ 大会を見据えた勝つための部活動ではなく、生涯教育として地域のスポーツクラブという位置付けに移行。

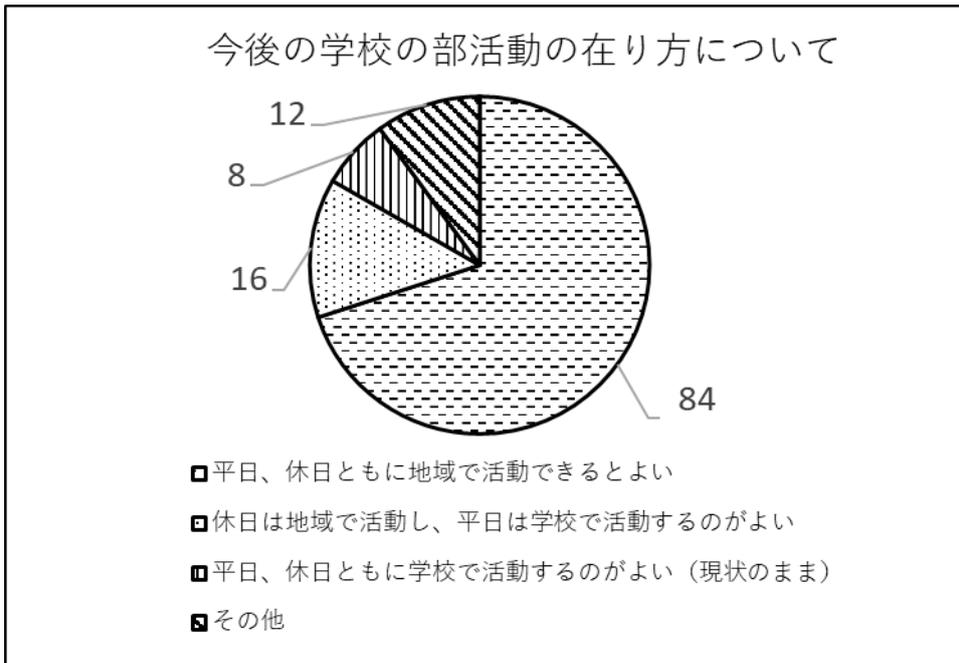
(反対)

- ・ 生徒指導面。
- ・ 教員と生徒の教室以外での関わりが薄れる
- ・ 費用面を含め課題等十分な検討がない。地域移行の言葉ばかりが先行。

(その他)

- ・ 中途半端に学校が関わるのであれば反対。
- ・ 教職員の負担は軽減されるが、学校が行うことによって得られる効果もある。
- ・ 部活動拠点校制になったら、市の端にある学校の生徒達は、平日通えるのか。
- ・ 地域移行しても結局トラブル等は学校の責任。すべてお任せできるのであれば良い。
- ・ 地域の人材確保、活動場所等、受け皿がまだ不十分であるため一長一短ある。

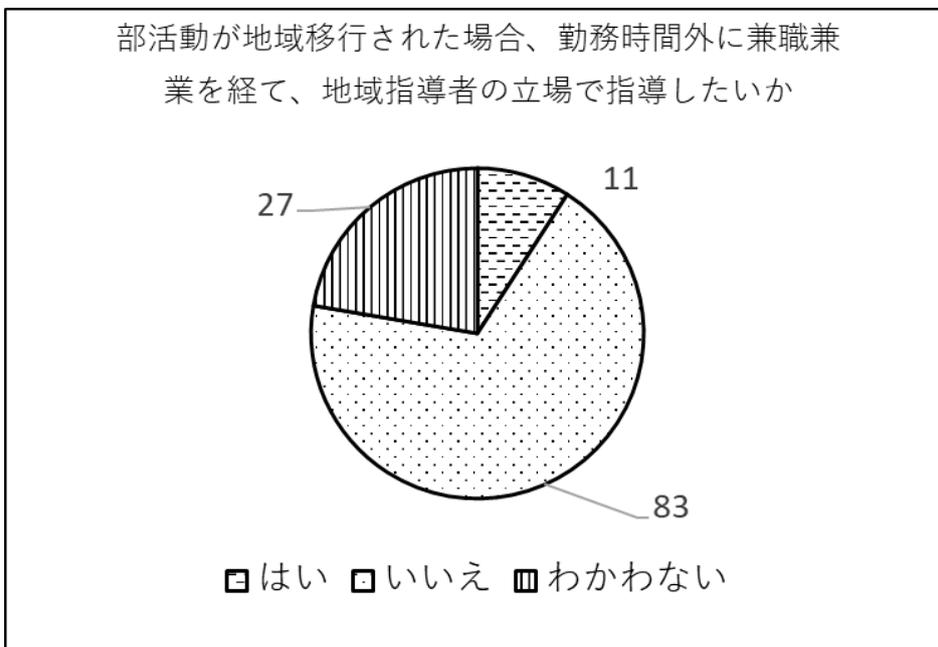
(8) 今後の部活の在り方について



その他

- ・ 中途半端な移行は、生徒が混乱する。
- ・ 学校によって対応が異なるということがないようにしてほしい。不公平感を感じないように公平に。
- ・ 児童生徒数が減る中でもできることを模索してほしい。現存部活と顧問、学校に丸投げはやめてほしい。

(9) 地域移行後の兼職兼業の希望の有無



(10) 今後の学校部活動の在り方や方向性について (自由記述)

- ・私自身、学生時代に部活でしか得られないものがあると思い、一生懸命取り組んできました。部活の顧問がやりたくて教師を目指していたので、教師という立場から子供の成長を近くで感じたいです。
- ・現状人材の確保がかなっていないというのを聞きました。財政的にも厳しいとは思いますが、思い切ったこと (部活地域移行) をするのでやむを得ないとも思います。
- ・今後、学校部活動の在り方については、業務と切り離し、収入を得られる兼業として認めていけばよいと考える。その方が各教職員に選択肢を与えられ、個々の要望に対応ができる。ただし、実現するためには、今以上に業務量の削減は必要である。
- ・若い教員や子育て世代の教員の先生方が顧問を断りにくい風潮がある。(教員数の少なさ、部活動数の数が多く入るしかない)
- ・今後、大会を継続して開催する場合、地区予選や県大会など誰が運営するのが気になります。
- ・合同チームなどがある限り、部活数は減らないから苦しくなるだけです。思い切った市内同時の大改革が必要です。
- ・先進的な市町村の地域移行の成果を参考にしながら、一気に変えていく必要があると思います。
- ・本気で何かを教えたい! という教師の姿勢はなくなってほしくない。